

(別添) 持続可能な地域航空に向けた抜本的な対策

資料1

| | 可能な限り早期に実行に移していくもの | 今後も検討を継続し、結論を得次第、可能な限り速やかに実行に移していくもの |
|---------------------------|--|---|
| 地域航空の維持・確保を支える対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○最大離陸重量15トン以上のATR機の航行援助施設利用料の低廉化 ○私立大学におけるパイロット養成促進に係る奨学金制度の拡充(地域航空を含む航空業界全体としてのパイロット確保を目的) <p style="text-align: right;">等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○外国当局認定事業者が安全性を証明した修理部品の検査省略(予備品証明を受けたものとみなす輸入装備品の拡大) ○FAA認可シミュレーターによる訓練の国内での追認 ○防衛省パイロットの民間活用の促進(民間用計器飛行証明取得に係る更なる支援等) ○航空会社と地域が一体となったパイロット(ターボプロップ機)確保・養成に係る検討(一定期間の地域航空への従事を条件とした学費等支援等) ○離島補助の拡充や離島路線以外の地域航空に対する公的支援に係る検討 <p style="text-align: right;">等</p> |
| 個社・系列・地域を超えた協業を促進させるための対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○機材の統一化・共通化(ATR機)を前提とする整備業務等の受委託(JAC・AMX間) ○機材の統一化・共通化を前提とした航空会社間における低廉な価格での乗員訓練用シミュレーターの共用化 ○系列を超えた会社間での運航・整備業務の受委託や類似規程事業者の指定に係る更なる対応(具体的要望が発生した時点で、安全性確保を前提に柔軟に対応) ○大手航空会社2社の連携による、両社マイルを活用した地域航空路線利用喚起型クーポンの開発等需要喚起に向けた取組 <p style="text-align: right;">等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○機材の統一化・共通化 ○機材の共同保有化 ○人員(乗員、整備士等)の融通 ○運航、整備等業務の共同化 ○機材の共通化を前提とした各種マニュアルの統一化 ○大手航空会社と地域航空会社との系列を超えたコードシェア ○地域航空会社の統合や合併等、組織のあり方に係る検討 <p style="text-align: right;">等</p> |